

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	3023	(H.24)No.	3023
-----------	------	-----------	------

事務事業名 民間社会福祉施設整備費借入金償還補助金(高齢者福祉)			
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
健康福祉部	高齢・障害支援室	高齢者福祉担当 生坂康治	63-7591
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 年度 ~ 平成 年度	名張市補助金等の交付に関する規則	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	5	自立を支える地域福祉の充実
	施策	1	高齢者福祉
	小施策	3	保健福祉サービスの充実
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分	事業コード	141004
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 民生費	老人福祉費	
項 社会福祉費	(小事業名)	
目 老人福祉費	民間社会福祉施設整備費借入金償還補助金	

3. 事務事業の概要

事業概要
介護保険制度施行前に施設整備を実施した法人に対する元金及び利子補給。

めざす効果(事業目的)
高齢者福祉施設等の整備を促進するとともに、施設の運営の安定化を図ります。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	弘仁会 6,408千円 グリーンセンター福祉会 964千円 こもはら福祉会 14,520千円	弘仁会 6,256千円 グリーンセンター福祉会 723千円 こもはら福祉会 14,330千円	補助金・交付金	その他 ()	
直接事業費	21,891千円	21,309千円	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	平成27年度(計画)
財源内訳(千円)			弘仁会 6,256千円 グリーンセンター福祉会 723千円 こもはら福祉会 14,330千円	弘仁会 6,256千円 グリーンセンター福祉会 723千円 こもはら福祉会 14,330千円	弘仁会 6,256千円 グリーンセンター福祉会 723千円 こもはら福祉会 14,330千円
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 21,891	21,309	21,309	21,309	21,309
人工数	職員 0.04人	0.04人	0.04人	0.04人	0.04人
臨時職員等					
概算人件費	(0千円) 292千円	292千円	292千円	292千円	292千円
+ 総事業費	(0千円) 22,183千円	21,601千円	21,601千円	21,601千円	21,601千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名			単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	生きがいを感じながら、安心して暮らしている 高齢者の割合	%	-	-	-	-	78.0
	実績			77.6	82.4	75.4	74.9	
	目標							
	実績							
	目標							
	実績							

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
元金及び利子補給を順調に行っている。	引き続き、事業を推進していく。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
<ul style="list-style-type: none"> 市の高齢化率の推移(65歳以上の総人口に占める割合) 平成24年4月1日現在23.02%、平成26年度25.91%(市推計) 施設入所を希望する方が増加することが予想される。 	補助対象事業者から、このまま継続してほしいとの意見がある。

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む) 継続(現行)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載
法人の安定経営のため現行を継続

特記事項

--